

分析機器部門講習会シリーズ

オプティカルゲノムマッピングを用いた
ゲノム構造変異の検出について

Bionano Genomics 社の Saphyr[®]システムは、500 bp 以上のゲノムの構造変異を感度よく検出し、従来の細胞遺伝学的手法に代わる技術として注目されています。癌や遺伝病ではゲノムの構造変異が高頻度に検出されます。近年ではその検出にショートリードやロングリードの次世代シーケンサーも使用されていますが、それらの技術では検出が困難な繰返し配列、逆位、均衡型相互転座などの変異も Saphyr[®]システムでは検出が可能です。セミナーでは Saphyr[®]システムによるオプティカルゲノムマッピング (OGM) 解析の原理とデモデータを用いた解析例についてご紹介させていただきます。(演者：アズワン株式会社 浅野正也)

*本講習会では、分析機器部門に未導入の機器・技術について紹介します。

日 時 : 2021年10月 21日(木) 16:00~17:00

使用機器 : Bionano Genomics 社 Saphyr[®]システム

受講対象 : 癌、遺伝病などにおけるゲノム構造変異についてご興味のある方

場 所 : オンラインセミナー形式 (Teams)

申込期間 : 2021年10月 14日(木) まで

申込方法 : 電子メールで、subject を Saphyr とし、「講習会名」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、
yitoh@med.nagoya-u.ac.jp 宛にお申し込みください。

申込時にいただいた個人情報は、「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき適切に管理いたします。詳しくは、本学の個人情報保護に関するホームページをご参照ください。<http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/objectives/protection/index.html>

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当：伊藤（内線：2403、Email：yitoh@med.nagoya-u.ac.jp）

※Web でも講習会情報を掲載しています (<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)